

平成 24 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社中山製鋼所

(コード番号 5408)

代 表 取 締 役 社 長 藤井 博務

問 合 せ 先 取 締 役 営 業 本 部 長 箱 守 一 昭

(TEL 06-6555-3037)

企 画 管 理 部 長 守 屋 隆 男

(TEL 06-6555-3027)

収益改善追加施策の実施及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、足元の収益改善追加施策として、厚板工場の休止と厚板生産の新日本製鐵株式会社(以下、「新日鐵」という)殿への委託及び人員削減の合理化策を決議しました。

これに伴い特別損失の計上が見込まれますので併せて下記の通りお知らせ致します。

記

1. 背景と理由

当社は、収益改善施策として「鉄源多様化」、「電気炉材の適用拡大」、「中高級鋼の拡販」、「コスト削減」等に全社を挙げて取り組んでいます。しかしながら鉄鋼事業を取り巻く環境は、震災復旧・復興需要が一部で具体化する見通しである一方、歴史的な円高による製造業の海外シフトに伴う需要減、中国や韓国からの輸入品の流入による供給過剰から市況は低迷しており、依然厳しい状況が続いております。

このような環境の下、当社は平成 23 年度(2012 年 3 月期)決算において、3 期連続の赤字を計上することとなりました。早期の収益改善を図るために抜本的収益改善計画を策定中ですが、本件はそ

の中で新たな施策として取組んで参ります。

2. 厚板工場の休止

当社の厚板工場は昭和31年操業開始以来、多くのお客様に支えられて生産を継続して参りましたが、設備が著しく老朽化し品質対応力並びにコスト競争力の点で、引き続きお客様のご期待に応えることは困難との結論に至りました。平成 24 年度上期中に厚板工場は休止しますが、新日鐵殿に委託生産をお願いすることによって、お客様には従来通りの営業体制の下で当社の厚板をご使用いただけるように致します。

なお、厚板定尺品につきましては、引き続き当社熱延工場にて生産して参ります。

3. 人員の削減

当社は、足元の収益改善追加施策として、厚板工場休止に伴う人員削減を含め、全社員を対象に 200 名規模の人員削減を実施することを決定致しました。

なお、具体的なスケジュール等詳細につきましては、決定次第お知らせ致します。

4. 上記施策に伴う特別損失の計上

上記の施策実施に伴い、平成 24 年 3 月期 第 4 四半期の特別損失に約 13 億円を計上致しました。

内訳は以下のとおりです。

(1) 厚板工場の休止

厚板工場の休止に伴い、約 13 億円(内訳:設備の減損損失 8.9 億円、棚卸資産評価損失 1.7 億円、事業構造改善引当金繰入額 2.9 億円)を計上致しました。

(2) 人員削減

人員削減につきましては、早期退職加算金等が未確定ですので、上記の影響額には織込んでおりません。

5. 抜本的収益改善計画の策定

現在策定中の本計画につきましても決定次第速やかにお知らせ致します。

以 上